

車載用画像表示装置

「特許 4933669」

- 現状の車載用画像表示装置は、自動車を運転中現在の車両の外の風景画像は表示させることが出来ない。
- 運転手は、天候により視界が悪化したり、視力が一時的に低下したりすると、周囲の状況を正確に把握できないことがある。
- 特許 4933669 は、運転中において、リアルタイムに車両の周囲の状況を画像で正確に再現し、窓部に表示させる特許です。

* 当社では、本特許の実用化をご検討いただける企業様を募集しております。

特許のポイント

- 移動物を強調表示したり、運転手が見やすい構成が出来る。
- 車の遠方の状況も近い窓ガラスで見え、状況を把握出来る。
- 危険回避が遅れて事故が発生することを、確実に防止できる。



- 走行中 車両周囲の状況（人、車、等）をキャッチし、
明るい時間帯
暗い時間帯でも
明るさに合せ、
タイムリーに窓ガラスに表示させる特許です。

車載用画像表示装置

「特許 4933669」

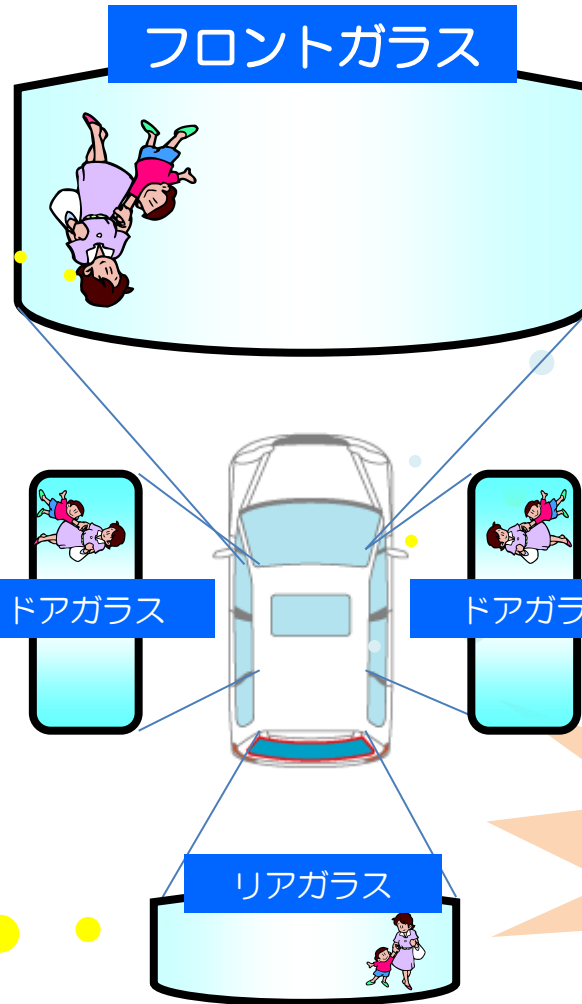
その他 特許の特長

① 窓状態と表示状態を切り替えることができる。

② 運転速度に合わせて表示切替ができる。

③ バック時に後方の状況をフロントガラスに表示出来る。

④ 後方の窓ガラスに表示することができる。



⑤ 運転状況を後から見る事が出来る。

⑥ 表示は車内、車外に表示出来る、外側の表示にはメッセージを表示する事も出来る。

⑦ 車両外の音を聞くことができる。

⑧ 衝突回避の可否判断ができ、不可と判断すれば被害の最小限化が図れる。